

金木町だより

昭和59年12月号 (第224号)

金木町企画室

金木町大字金木字朝日山323
電話 53 2111 (代表) 内線40

冬将軍到来

除雪作業に協力を

本格的な雪の季節がやって来ました。

北国に住む私たちにとっ
て避けることのできない約
四ヶ月間の雪との闘いは、
町内一 の地吹き地帯と言わ
れる藤枝地区のカッチヨ作
りなど今年も各戸の雪害対
策からはじまりました。
毎年この季節問題となる

のが除雪対策で、昨年は豪
雪対策本部が設置されたほ
ど雪量も多く、延べ約九十

九キロの町道の除排雪に一
千八百六十万円が投じられ
町財政を圧迫しました。

また、今冬の除排雪対策
に係る予算は、九百九十万
円と昨年の約半分で計上さ
れ、町有八台の除雪車がフ

ル回転される予定です。

町では、火災など緊急時
に備えて主要道を優先に、
交通量の少ない時間帯を見
計らって除雪を進めて行き
ますが、財政面や人手不足



などから効率のよい作業を
進めるために、①路上駐車
の禁止②事故防止のため除
雪車に近寄らない③危険個
所には赤旗を立てる④道路
に雪を捨てないで道路端に
積み⑤除雪車の右側走行に
注意⑥道路で遊ばない。な
どの協力呼び掛ける一方、
運転者相互の連係を密にし
て、今冬の除排雪作業に万
全を期す予定です。

豊作に感謝

第2保育所で もちつき大会

豊作に感謝の心を。とさる12月13日、町立第二保育所(藤田要造所長＝園児69人)でもちつき大会が開かれ、園児らがキネを振りました。

このもちつき大会は、同
保育所が毎年この時期開い
ているもので、今年は九キ
ロのもち米を三回に分けて
つきました。

交代でキネを持った園児
たちは、モチがくっついて
思うように上がらないキネ
に悪戦苦闘していました。が
真剣そのもの。楽しい一と
きを過ごしました。

つき上ったモチは、保母
さんらがあんこをたつぶり
入れて手際よくまるめ込み
園児たちは、自分でついた
つきたのモチをおいしそ
うにほおばっていました。



永年の功勞に感謝 商工会で86人を表彰

白川竹治さんに県褒賞

さる十一月二十八日、青森市で本年度県褒賞の授与式が行われ、金木町から白川竹治さん(沢部60歳)が晴れて受賞しました。

白川さんは、昭和十六年五月に警防団員を拜命以来、



班長、分団長を歴任し、五十四年一月から消防団長として活躍され、住民の財産と生命を四十三年間守り続けた功績が認められたもので、北村知事から褒状と銀杯を授与されました。

- 金木町商工会(角田良逸 会長)では、このほど永年勤続従業員に感謝状を贈り商工業の発展に寄与した永年の奉仕を讃えました。
- 受賞者は次の通りです。
- ▼勤続三十年 白川昭夫(津島印刷) 伊藤敏秋(芳賀酒店) 三上勉(須藤呉服店) ▼同二十五年 大橋和夫(尾野病院) 木下信行(田村商店) 安田武三(オサナイ洋品) ▼同二十年 木田忠雄(商工会) 須藤文字(同) 戸征雄(自動車学校) 葛西尚身(同) 工藤弥三郎(尾野病院) 沢田良(斜陽館) 工藤よし(同) 角田豊治(又一製材) 成田正一(同) 高橋さよ(同) 田中喜代太郎(白川製材) 川口清勝(自動車学校) ▼同十五年 三潟勝則(前田自動車商会) 成田かねよ(京染の白川) 岩田ハルノ(高元呉服店) 須崎敏雄(自動車学校) 角田キヌ(尾野病院) 野呂昌昭(同) 鎌田マツエ(木村製材) 高橋はつよ(又一製材) 今ミサ(西沢旅館) ▼同十年 浅田正一(自動車学校) 工藤幸雄(同) 桑田昭夫(同) 三上立美(同) 平山吉一(同) 秋元良子(松山呉服店) 米谷猛(あしの観光) 秋元信一(尾野病院) 外崎純子(同) 工藤あき子(同) 吉田良子(同) 芳賀キシ(同) 斉藤幸恵(同) 長尾トミ(長内呉服店) 中谷幸(津軽木材) 浅田静江(白兼ストア) 松江道子(同) 石川義彦(中谷金物店) 山田良子(成田商店) 木津智子(同) 高橋キクエ(同) ▼同五年 木下洋子(しらはる菓子店) 成田信賢(自動車学校) 成田正幸(同) 山中栄子(菓子司松しま) 秋元正子(尾野病院) 今とし子(文化専門学校) 古川秋子(同) 中村チサ(三浦生花店) 工藤伊津(津軽木材) 島中美津子(斜陽館) 田中忠栄(あしの観光) 長谷川敏次(同) 泉谷英次(同) 秋元晴雄(同) 田中俊雄(同) 江良秀雄(同) 山口富士雄(木村製材) 太田トミエ(同) 吉田みつ(加藤美容室) 木村晃(中谷金物店) 泉谷和雄(成田商店) ▼同三年 大橋容子(西村製材) 白川タケ(同) 磯野則子(同) 小山内トシ(同) 中谷恵子(あきもと) 長尾サダ(同) 三上冷子(丸兵製材) 外崎日奈子(県信用金庫) 白川早苗(自動車学校) 今富士子(笹木レコード) 佐藤礼子(角田靴スポーツ) 秋谷順子(尾野病院) 原田千恵子(同) 葛西ひとみ(同) 鈴木初江(同) 松川ハルエ(白兼ストア) 三上千穂子(加藤美容室)

教育長に 田村雄三氏

さる十一月十三日に招集された臨時町議会で、病氣療養のため辞任した高橋元弥教育長(63歳)の後任に田村雄三氏(72歳)を選任し、十九日開かれた県教育委員会の承認を得て教育長に就任しました。



田村氏は、昭和八年県師範学校を卒業後、三戸郡鳥谷小教員を振り出しに、昭和十一年には金木小、四十八年の武田小学校を最後に四十一年間教員生活を送り、現在心配ごと相談員などを兼任しています。

藤本さんに感謝状

「出し合い減歩方式」を考案した藤本松夫さん(前小田川土改区事務局長)五所川原市在住)の退職に当り町では、小田川改修事業促進委員会(沢田茂委員長)と連名で、このほど感謝状を贈り36年間の奉職と功績に感謝しました。



古川町長から感謝状を受けら藤本さん

ほ場整備と平行して行われた小田川改修工事は、用地買収が最大の問題となり困難を予想されましたが、藤本さんは、用地買収に係る土地を農家が出し合う減歩方法を思いつきこれを実施。事業がスムーズに運ばれました。

三団体が 優良転作団体に 県農業祭

十和田市で開かれた第二十六回青森県農業祭で金木町から嘉瀬営農組合ら三団体が優良転作団体に選ばれ優秀賞と努力賞を受賞しました。

この表彰は、転作の誘導と定着化を推進し、農家の経営合理化を目的に、県が優良転作集団褒賞事業として毎年県農業祭と一緒にやっているもので、転作々物の栽培技術や活動組織が他の模範となる団体に贈られています。

今年は県下、四〇四団体の中から二十四団体が選ばれました。

▼優秀賞

嘉瀬営農組合第三班

代表 須崎 悠悦

喜良市営農組合

代表 西村 晃一

▼努力賞

金木営農組合

代表 川口 隆



表彰を受ける嘉瀬営農組合の須崎悠悦さん

『毎日のお仕事ころろさまです』



勤労感謝の日を前に、さる十一月二十一日、金木幼稚園(片岡八千雄園長)の園児九十一人が、役場、警察署、消防署を訪問し、職場の人たちを励ました。この日、役場を訪れたのは、きりん組の最年長十一人で、午前中にお母さんらと一緒にいただいたおもちゃと花束を角田総務課長に手渡すさまです。」と元気にあいさつしていました。

スタンドの 日曜営業案内

▼1月6日	第1日曜日
嘉瀬農協	53-2067
▼1月13日	第2日曜日
小林商店	53-3361
▼1月20日	第3日曜日
其田石油	53-3773
▼1月27日	第4日曜日
藤本石油	53-2440

人口と世帯

11月30日現在	前月比
世帯 3,901世帯	-1
人口 14,314人	-8
男 6,886人	-3
女 7,428人	-5

戸籍の窓

十一月

おめでとう

- 吉崎 傑(耕市) 嘉瀬
- 野宮 彰人(正彦) 金木
- 工藤 哲也(清司) 嘉瀬
- 田中 秀明(亮一) 金木
- 鳴海 幸文(勝文) 嘉瀬
- 澤田香緒里(正) 嘉瀬
- 柿引 里子(照明) 金木
- 今 友幸(久幸) 喜良市
- 外崎 宗征(誠一) 金木
- 木村 麻美(清悦) 嘉瀬

おしあわせに

- (蛸島 浩喜(一實) 嘉瀬
- (成田 久子(良吉) 板柳町
- (山ノ内 彰(繁光) 稲垣村
- (工藤 輝子(良村) 藤枝
- (棟方一光(浅太郎) 喜良市
- (原田八重子(善吉) 中柏木
- (安野 孝一(通邦) 金木
- (安田由美子(正男) 秋田県

はじめまして



傑 ちゃん

10月30日生まれ
体重 3,450g

嘉瀬 吉崎耕市 長男

おくやみ

- (三上 文久(彌) 藤枝
- (松尾 健(竹男) 金木
- (寺山美智代(富蔵) 稲垣村
- (石谷のり子(一) 五所市
- (原田 英次(一) 中柏木
- (須藤 典子(輝一) 五所市
- (長尾 文範(甚五郎) 金木
- (桑田 広美(一生) 喜良市
- (世永 恵子(博) 金木
- (小野 てるみ(輝雄) 中里町

一日消防士を体験して

金木南中学校三年

鳴海 武樹

一日消防士を体験して、一番印象に残ったことは、放水訓練でした。重いホースをもち重い服を身につけての行動は、いがいにきつものでした。あんなに窮屈なかつこうで実際何十分も放水を続けなければならぬなんて、消防士というのは、根気のいる職業だと思いました。放水訓練を体験して、一般に発生する火事のことか、家庭内での火事の消火の仕方なども自信がついたような気がしてとても勉強になりました。

また、出動訓練を見学しましたが出動のベルがなり、出動するまで約三十秒ぐらいしか、かからないのには、とてもびっくりしました。そのあとで自分たちもやってみましたが、四分以上もかかってしまい、いかに大変かということがわかりました。また、車の点検が非常に厳しくそして規律正し



く行なわれていることには、とてもおどろきました。

消防署の行なう仕事は、火事の消火だけだと思っていました。他のにも救

急・救助などがあると、知りませんでした。また日本全国年間の火災件数や、救急車の出動数、それに金木町の火災での損害額の大ききには、おどろかされました。

ぼくは、一日消防士を体験してみ、消防士という仕事は本当に大変な職業だ



公民館での査察風景

なあと思いました。ぼくたちが気のつかないところで何人も消防士の人が汗を流しているのだと思うと、ぼくたち一人一人が気がつけなければならぬと思う。これからは、火の始末に気をつけて、火事をなくすようにしたいと思います。

金木南中学校三年

白川 宰子

先日、一日消防士に参加した。普段、私たちの生活にかかわりある消防が、はじめは、どのようなものなのか、わからなかった。

中里消防署につき、消防長から辞令をもらったときは、とても緊張した。周囲も、なんとなく重々しい雰囲気だった。学校生活では体験できないことを、この一日消防士に参加することで、貴重な体験ができたと思う。

消防と一口に言っても、多くの仕事があるのだと知った。なかでも、公民館、病院などの査察については、意外に思った。細かいところまでにも目を光らせ、チェックを行っているところなど分からなかった。建物

金木ダンス愛好会で 純益金を町に寄付

金木ダンス愛好会(成田重雄会長)は、さる十一月九日、チャリティーダンスパーティーを開催し、純益金(五万円)を町に寄付しました。

会場の中央公民館では、約四百人の紳士淑女が集り思い思いのダンスを楽しんでいました。



一つにもいろいろな装置があり、複雑になってきているので、消防の力は、なくては、ならないものだと思う。火災の予防だけでなく、一刻を争う住民の命を守る

代わりだと思つて使っている人は別に大したこともなく無事で、もし、他に死が迫ってきている救急車を利用できずに取り返しのでない状態になったらどうなるのか、そのタクシー代わりと思つて利用する人が今後増えないようにしなければならぬと思う。

ためにも、がんばつてほしいと思います。しかし、消防の方から聞いた話には、救急車をタクシー代わりだと思つていのが増えてこまわっていることを知り、とてもがっかりした。タクシーのために、小さいけれど、町全体となれば、大きな力となる。火災を未然に防ぐことは難かしいが、一人の火の元に注意するささいな力が町全体につながるように、努力しなければならぬと思う。